

きてみて YA³⁶



きて

くれたよ

YA



@静岡市立中央図書館 麻機分館

■ 職場体験、再開しました！

5月17・18日、竜爪中学校から3人の生徒さんが職場体験学習で来てくれました！その様子を少しだけご紹介♪

今回は、「おすすめ紹介記事」の作成、フィルムコート体験、書架返しなどを体験してもらいました。3人とも作業を覚えるのもやるのも早い！特に頑張ってもらったのは、「おすすめ紹介記事」の作成です。事前に



おすすめの本や自分の紹介したいものを

考えてきてもらい、ひとりひとり好きなものの紹介記事を作ってもらいました。今時のYA世代は何が好きなのがよく分かる紹介文になりました☆

みんなの共感するおすすめはあるかな?? 麻機分館カウンター横掲示板に展示しているので、ぜひ実物を見に来てくださいね！



～職場体験の感想～



普段やらないことが体験できてとても良かったです。また図書館職員の体験をして、自分たちが見ないとどこでどんな仕事をしているか分かりました。



この2日間の間に、貴重な体験ができてうれしかったです。また裏の方ではこんなことをやっていたなんて思ってもいなかったので、ここの職場体験学習をできてよかったです。



YA 作業で本の紹介や、自分の好きなバンドの紹介を書くのがすごく楽しかったです。読み聞かせも緊張したけど、楽しんでくれてよかったです。

竜爪中のみなさん、2日間お疲れ様でした！
図書館での職場体験学習は、各学校を通して申し込むことができます。

みなさんのご来館、お待ちしております。

(´ω´)!



きっとあなたの助けになる!?

「自分らしい生き方」に役立つ本はコレ!

紹介本: 『「空気」を読んでも従わない

生き苦しさからラクになる』

鴻上尚史/著 岩波書店

皆さんは、日々の生活で、無理に周りに合わせようとしたり、人に頼まれると断りづらいと思ったり、先輩に逆らえず、イヤなのに従ったり、一人にはなりたくないと思ったりしませんか?

なぜそう思うのでしょうか?外国の人もそう思っているのでしょうか?そのヒミツがこの本には書かれています。

著者は、日本人が「世間」の中で生きてきたからだとっています。でも外国の人は「社会」の中で生きてきたとも言っています。では、その「世間」とは「社会」とは何でしょうか?読んでみてください。分かりやすく書いてあり、納得できます。

しかも、イヤな先輩に従わない方法や、そこから抜け出せる方法も書かれています。参考になるでしょう。

また、結びには『この国で、同調圧力に負けないでちゃんと生きていくためには、知恵をつけることです。そして、表面的な出来事に振り回されるのではなく、物事の本質を見つめることが大切なのです』と書いています。

読み終わると、そうだったのか!とモヤモヤがスッキリします。前向きになれる本です。

執筆者:ペンネーム高校司書さん(静岡女子高等学校)



特集
旅

旅は人を成長させる。まったくもって同感ですね。
というわけで皆さんも・・・Have a nice trip! (司書 新茶)



『夜のピクニック』 恩田陸/著 新潮社
北高の最後の伝統行事・歩行祭。80kmの道のりを親友たちと夜を徹して歩く。
「みんなで夜歩く。ただそれだけのことなのにね。どうしてそれだけのことが、こんなに特別なんだろうね。」
友人の言葉を思い出しながら、3年生の貴子はこの歩行祭で、3年間の秘密を清算すべくある賭けを実行しようとしていた。一夜のうちに起こる「奇跡」。賭けに勝った貴子は、最後の母校までの坂を新たな関係の始まりの予感に包まれて歩く。第2回本屋大賞。映画化・舞台化もされた青春小説。

『極北へ』 石川直樹/著 毎日新聞出版
旅が職業を決め、人生が旅になった。著者は17歳の夏、一人でインドに行き、強い衝撃を受けた。その後、カメライスト野田知佑や、星野道夫の写真と出会い、彼の人生は「極北へ」と方向付けられる。この本は「アラスカの象徴」デナリ山の20歳の時の登頂体験から始まる。極寒の地に生きる人々の暮らし、厳しくも美しい自然への畏怖。人間の野生を呼び覚ます圧倒的な世界との出会い。石川直樹の現在は写真家。世界を旅しながら作品を発表し続けている。

旅たび

『二年間の休暇』 J・ベルヌ/著 朝倉剛/訳 福音館書店
『十五少年漂流記』のタイトルでも有名。1860年3月、英領ニュージーランドの寄宿学校の15人の少年たちは自由な2か月の休暇をニュージーランド周回の航海で楽しむ予定だった。ところがあるはずらと嵐のせいで少年たちは無人島に漂着してしまう。大人がいない中での、住居、食料の調達、道具の工夫、少年たちのサバイバルは読んでいてなかなか楽しい。やがて無人島内で生じる派閥抗争は、当時の仏・英・米の国籍の違いや人種への偏見など、社会の縮図を思わせる。困難を乗り越え、少年たちが家族のもとにもどってくるまで、タイトル通り2年間を要したのだった。読みどころ満載のベルヌの代表作の一つ。

『キノの旅』 時雨沢恵一/著 メディアワークス電撃文庫
主人公のキノは十代の少女。旅の相棒は言葉を話す二輪車エルメスだ。キノは一つの国に三日間だけ滞在するというルールで惑星上の国々を旅していく。国をみるためだけに旅するキノにとってそれぞれの国のいかれた問題は明らかである。そのために厄介ごとに巻き込まれることもしばしばだ。物騒な事態を切り抜けるため、キノは二丁のパースエイダー(銃器)の練習と整備を常にかかさない。一丁は「カノン」と名付けたリヴォルバー。もう一丁は「森の人」と名付けた細身の自動作動の銃だ。キノは電撃のような早撃ちで面倒な局面をなんとなく潜り抜け、次の国へと旅を続ける。1つの国につき1話の連作短編なのでどこから読んでもOK。



時の記念日によせて

今回の担当は…司書きらりん

6月10日は「時の記念日」です。『日本書紀』に日本初の時計が鐘を打った日との記述があることから、それを記念して制定されました。(残念ながら国民の祝日ではありません。)

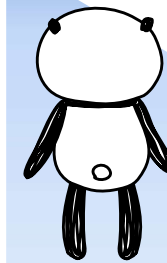
時間は生きとし生けるものすべてに平等な、唯一のものといえませんか？そこで、時間にちなんだ本『モモ』(ミヒャエル・エンデ/著 大島かおり/訳 岩波書店)を紹介します。原作は何度も舞台化されている有名な物語なので、読んだことのある方も多いと思います。でも、読み逃してしまった、とか、読んだけど内容は忘れてしまった、という方も多いのではないのでしょうか？

幼年童話ですが「再度手にとって読んでみたら、その内容の深さに感動した」と感想を述べて下さる方もいます。

「時の記念日」によせて、読まずに通り過ぎてしまったYA世代の皆さんに、是非手に取っていただきたいと思います。今一度、自分が生きている限られた時間の大切さを考えてほしいと思いました。

365日すべてなにかの「記念日」です。あなたの誕生日はどうでしょうか？『日本の365日に会いに行く』(永岡書店編集部/編著)お勧めです。

司書のつぶやき



YA新着ピックアップ (2/20～5/19入荷分)

このほかの新着本は、[図書館ウェブサイト](#)より、[資料検索・予約](#) [新着資料](#)にてチェックすることができます。

タイトル	著者等	出版社	内容紹介等
キリン解剖記 ～ジュニア版～	郡司芽久/著	ナツメ社	キリン好きの女の子が研究者になるまで。なぜあんなに首が長いのか、秘密にせまる!
生き抜くためのごはんの作り方 ～悩みに効く16人のレシピ～	有賀薫 他/著	河出書房新社	料理家16人が伝える「料理をすることは自分を助ける力になる」とは。
大人になるってどういうこと? ～みんなで考えよう18歳成人～	神内聡/著	くもん出版	高校生で大人になるってどういうこと?みんなと一緒に考える18歳成人の入門書。
SDGsの教科書 10代からの地球の守り方	池上彰 他/著	誠文堂新光社	17の目標の課題と解決を詳しく解説しています。当事者として考えてみよう。
ヨーロッパ史入門 ～市民革命から現代へ～	池上俊一/著	岩波書店	近現代ヨーロッパ史。索引と年表あり。前作『原形から近代への胎動』も併せてどうぞ。
香君 (上・下)	上橋菜穂子/著	文藝春秋	世界の繁栄を支えるオアレ稲に異変が起きる。少女が危機を回避するため尽力する。
ぼくとり	イングリ・シャベール/著 アーサー・ビナード/訳	千倉書房	ナタリーのことが気になる僕はトリになると決めた。初々しい恋の物語。
カンフー&チキン	小嶋陽太郎/著	ポプラ社	不良に襲われ財布をとられた竹人は、妙な気功術を使うクラスメイトに助けられて…。
嫌いな教科を好きになる方法、 教えてください!	新井リオ 他/著	河出書房新社	嫌いな教科だからこそ、面白くなってくる!? 各教科の好きになる方法が盛りだくさん。
ミズクと夜の王	紅玉いづき/著	KADOKAWA	少女と夜の王が出会ったのは、美しい月夜。お伽噺のように美しいファンタジーの世界。

☆☆★新着 イチオシ! ☆☆☆



『タブレット・チルドレン』

村上しいこ/作
かわいちひろ/絵・漫画
さ・えら書房

みなさんの学校ではタブレットを使った授業をしていますか? そのタブレットで子どもを育てたことはありますか? もちろんありませんよね。

好きでもない男女でペアを組まされて、AI(人工知能)の子どもを育てることになった中学2年生の心夏(ここな)。クラスメートの温斗(あつと)と組んで、マミという小学6年生の女の子の親になることに。毒舌なマミに圧倒されながら、なんと母親になりきろうとしますが…。

親子とは、家族とは、子育てとは、そして命とは…。生徒それぞれのいろいろな思いが渦巻くお話です。(司書りよん)



【編集後記】

初めてのLマガの編集でしたがなんとか形になりうれしいです。

今月はたくさんの中学生在が職場体験に来てくれました。みなさんありがとうございました!

(司書たい焼き)